

科学技術イノベーション人材の 育成施策について

令和2年1月
科学技術・学術政策局 人材政策課



文部科学省

MEXT

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

4. 科学技術イノベーション人材の育成・確保

令和2年度予算額(案) 24,138百万円
 (前年度予算額) 24,699百万円
 ※運営費交付金中の推計額含む



文部科学省

科学技術イノベーションを担う多様な人材の育成や活躍促進を図るための様々な取組を重点的に推進。

若手研究者等の育成・活躍促進

我が国を牽引する若手研究者の育成・活躍促進

- ◆卓越研究員事業 **1,578百万円 (1,756百万円)**
 優れた若手研究者が産学官の研究機関において安定かつ自立した研究環境を得て自主的・自立的な研究に専念できるよう、研究者・研究機関を支援。
- ◆世界で活躍できる研究者戦略育成事業 **314百万円 (240百万円)**
 我が国の研究生産性の向上を図るため国内外の先進事例の知見を取り入れ、世界トップクラスの研究者育成に向けたプログラムを開発し、トップジャーナルへの論文掲載や海外資金の獲得等に向けた支援体制など、研究室単位ではなく組織的な研究者育成システムを構築。
- ◆データ関連人材育成プログラム **271百万円 (303百万円)**
 大学、企業等がコンソーシアムを形成し、各分野の博士人材等について、データサイエンス等のスキルを習得させる研修プログラムを開発・実施し、多様な場での活躍を図るとともに、高等学校等との連携により、AI・数理・データサイエンスに関する探究的な学習を促進。
- ◆研究人材キャリア情報活用支援事業 **144百万円 (126百万円)**

優秀な若手研究者に対する主体的な研究機会の提供

- ◆特別研究員事業 **15,635百万円 (15,627百万円)**
 優れた若手研究者に研究奨励金を給付して研究に専念する機会を与え、研究者としての能力向上を支援。
- ◆国際競争力強化研究員事業 **188百万円 (111百万円)**

イノベーションの担い手となる多様な人材の育成・確保

- ◆プログラム・マネージャーの育成・活躍推進 **117百万円 (117百万円)**
- ◆次世代アントレプレナー育成事業 (EDGE-NEXT) **445百万円 (384百万円)**
 起業活動率の向上、アントレプレナーシップの醸成を目指し、ベンチャー創出力を強化。

次代の科学技術イノベーションを担う人材の育成

- ◆スーパーサイエンスハイスクール (SSH) 支援事業 **2,219百万円 (2,219百万円)** 高等学校
 先進的な理数系教育を実施する高等学校等をSSHに指定し、支援。
- ◆グローバルサイエンスキャンパス **429百万円 (419百万円)**
- ◆ジュニアドクター育成塾 **241百万円 (240百万円)**
 理数分野で卓越した才能を持つ児童生徒を対象とした大学の育成活動を支援。

小中学校

研究者

ポストドク

大学院

大学

各学校段階における切磋琢磨の場

科学技術、理科・数学への更なる関心向上、優れた素質を持つ生徒の発掘・才能の伸長。

- ◆サイエンス・インカレ **65百万円 (65百万円)**



科学の甲子園ジュニア



女性研究者の活躍促進

- ◆ダイバーシティ研究環境 **1,014百万円 (1,008百万円)**
 実現イニシアティブ

研究と出産・育児等のライフイベントとの両立や女性研究者の研究力向上を通じたリーダーの育成を一体的に推進するダイバーシティ実現に向けた大学等の取組を支援。

- ◆特別研究員(RPD)事業 **930百万円 (930百万円)**

優れた研究者が、出産・育児による研究中断後に、円滑に研究現場に復帰できるよう、研究奨励金を支給し、支援。(RPD: Restart Postdoctoral Fellowship)

- ◆女子中高生の理系進路 **42百万円 (43百万円)**
 選択支援プログラム

女子中高生の理系分野への興味・関心を高め、適切に理系進路を選択することが可能となるよう、地域で継続的に行われる取組を推進。

背景・課題

- 今後、**生産年齢人口の減少**が一層進む中、貴重な高度人材である**若手研究者の活用**を社会全体で無駄なく効率的に図ることが必要であり、**若手研究者と産学官の研究機関とのマッチングを促進**し、科学技術イノベーションの推進と我が国の持続的発展につなげていくことが必要。
- 特に、**産学官の研究機関が優れた若手研究者に安定かつ自立した研究環境を提供**し、自主的・自立的な研究に専念できるようにしていくことが我が国の研究力の向上を図る上で極めて重要。

事業概要

【事業の目的・目標】

- 優れた若手研究者が産学官の研究機関において安定かつ自立した研究環境を得て自主的・自立的な研究に専念できるよう、研究者及び研究機関に対する支援を行う。

【事業の概要】

- ① 卓越研究員の受入れを希望する大学、研究開発法人、企業等からポストを募集し、一覧化して公開
 - ② 若手研究者に対して卓越研究員の公募を行い、厳正な審査を経て文部科学省が若手の卓越した研究者を候補者として選定
 - ③ その後、卓越した研究者とポストを提示した研究機関が交渉を行い、マッチングが成立した候補者について、文部科学省が卓越研究員として決定
その際、**若手研究者と研究機関をつなぐブリッジプロモーターによりマッチングを促進**
 - ④ 卓越研究員を受け入れた研究機関に対し、一定の期間、研究費等を支援
- ※ 海外のトップクラスの研究機関で活躍し、帰国する研究者について特別枠を設け支援。

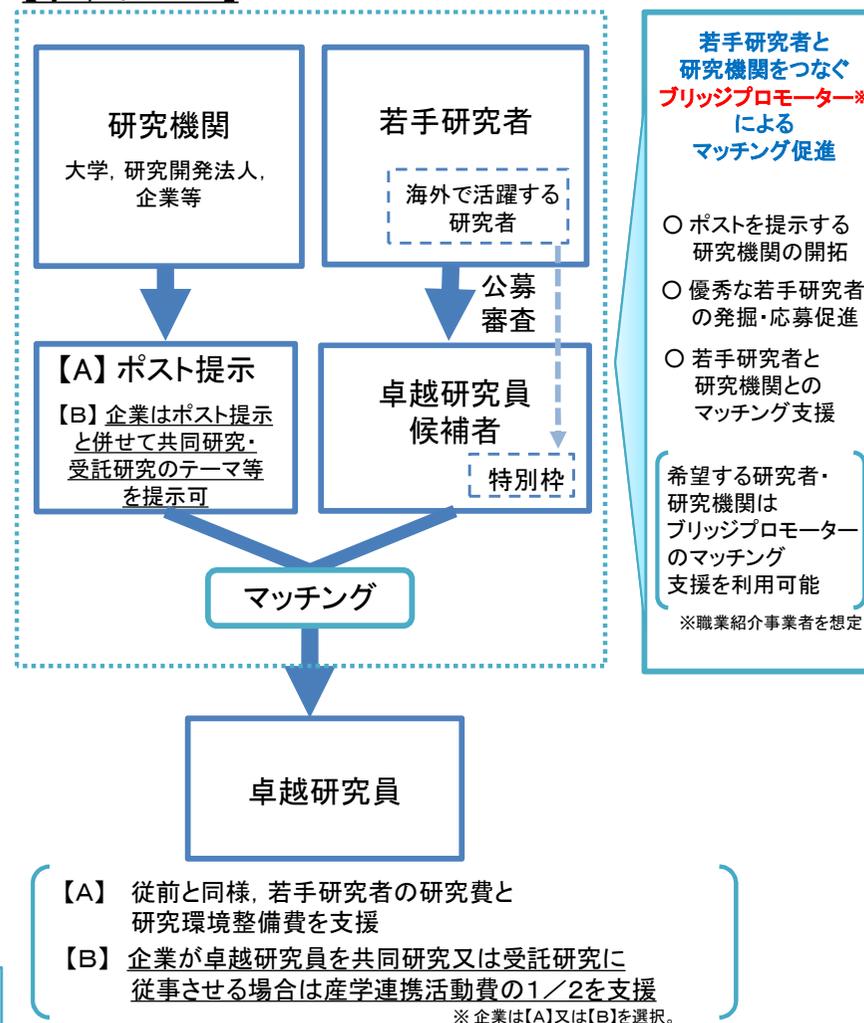
【事業スキーム】

- ✓ 支援対象：国公立大学、国立研究開発法人、民間企業等
- ✓ 人数：320名程度(うち新規採用 55名程度)
- ✓ 支援内容：
 - 【A】若手研究者の研究費 年間6百万円(上限)／人(2年間)¹
研究環境整備費 年間2～4百万円(上限)／人(5年間)
※1 人文・社会科学系は、400万円を上限
 - 【B】産学連携活動費 年間最大10百万円(上限)／人(最長5年間)²
※2 クロスアポイント制度や出向制度を活用した共同研究も想定。
補助率1/2とし、企業負担額を上限。共同研究等の開始が2年目の場合、1年目は研究環境整備費のみ措置。

令和2年度の拡充事項

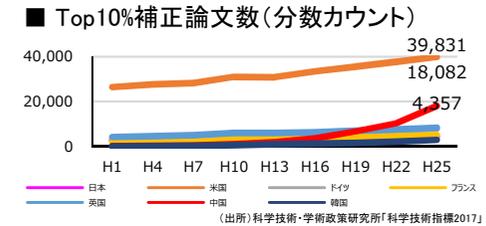
ブリッジプロモーターを2機関に増加。卓越研究員候補者と研究機関に対するマッチング支援を充実させるとともに、新たな提示ポストの開拓等の卓越研究員決定者の拡大に向けた取組を強化。

【事業イメージ】



背景・課題

- 論文数に関する我が国の国際的地位が質的・量的ともに低下してきている中、**人口減少局面**にある我が国が研究力の強化を図るためには、**研究者の研究生産性の向上**を図ることが急務。
- そのため、海外の取組を参考に、**世界トップクラスの研究者育成に向けたプログラムを開発**するとともに、**研究室単位ではなく組織的な研究者育成システムを構築**し、研究成果が世界で評価され、海外からも研究資金を得られるような、世界水準の研究・マネジメント能力を身に付けた**世界で活躍できる研究者の戦略的育成を推進**。



事業概要

【事業の目的・目標】

- 我が国の研究生産性の向上を図るため、国内の研究者育成の優良事例に海外の先進事例の知見を取り入れ、**世界トップクラスの研究者育成に向けたプログラムを開発**し、世界のトップジャーナルへの論文掲載や海外の研究費獲得等に向けた支援体制など、**研究室単位ではなく組織的な研究者育成システムを構築**し、優れた研究者の戦略的育成を推進する大学・研究機関を支援する。
- また、より効果的なプログラムを効率的に開発するため、各機関の代表者や学識経験者等で構成する「**研究者育成プログラム開発普及委員会**」を設け、**各機関の知見の集約・分析**や海外の先進事例等に関する情報の**収集・分析**を行い、我が国の**研究者育成プログラムの標準モデルや共通メニューの開発**を行い、各機関にフィードバックして**プログラムの不断の改善**を図るとともに、学会や大学団体等とも連携し、開発されたプログラムの普及に向けた方策の検討を行う。

【事業スキーム】

- ✓ 支援対象：国公立大学、研究開発法人
(複数機関によるコンソーシアム形式)※
- ✓ 支援機関：3機関程度(うち新規1機関程度)
- ✓ 事業規模：81百万円程度／機関・年(10年間)

※令和2年度は、複数の大学や企業等の連携のもとで、各機関の強みを生かして、産学を通じ活躍できる研究者を育成する取組を支援

【支援の条件】

- Society5.0における変化も見据え、文理の壁を越えて研究者の成長と科学技術イノベーションの創出を促す多様なバックグラウンドを有する研究者が相互研鑽を積む環境形成

海外研究機関で研究経験がある帰国研究者、外国人研究者、異分野・異機関の研究者が切磋琢磨する環境

* 参加条件を定めて他機関の研究者も受入れ

- 人事給与とマネジメント改革など若手研究者の確保に向けた自発的取組を行っていること

イメージ

学会等
連携

知見の共有

フィードバック

大学・研究開発法人

■ 研究者育成プログラム開発普及委員会

- 各機関の知見等を集約・分析し、各機関にフィードバック
- 学会・大学団体等と連携し、プログラムの普及方策の検討

・会議開催・事務局経費
・情報収集・分析経費

■ 英国 VitaeのResearchers Development Framework(RDF)

世界トップクラスの研究者育成に向けてプログラムを可視化・体系化し戦略的に研究者を育成

・プログラム開発・実証費
(研究費、渡航滞在費等を含む)

<研究者育成プログラムのイメージ例>

教育プログラム	<input type="checkbox"/> 海外研修機会の提供(海外研究機関での研究活動等) <input type="checkbox"/> 異分野交流機会の提供(異分野研究者との合同合宿等) <input type="checkbox"/> トランスファラブルスキルの育成(研究・マネジメント能力等)
研究指導	<input type="checkbox"/> メンターによる指導
研究環境改善	<input type="checkbox"/> エフォート管理(研究時間の確保) <input type="checkbox"/> 研究施設・研究機器の共同利用

+

- 各機関においてプログラムのメニューや実施方法、育成環境、実施体制等について実証。

背景・課題

- 人口減少局面にある我が国において、研究者コミュニティの持続可能性を確保するとともに、多様な視点や優れた発想を取り入れ科学技術イノベーションを活性化していくためには、女性研究者の活躍促進が重要であるが、女性研究者割合を諸外国と比較すると依然として低い水準にあり、特に上位職に占める女性研究者の割合が低い状況。
- そのため、女性研究者が出産、育児等のライフイベントにかかわらず研究を継続できる環境の整備や、女性研究者の研究力向上を通じた上位職登用の促進が必要。

事業概要

事業の目的・目標

- 研究と出産・育児等のライフイベントとの両立や女性研究者の研究力向上を通じたリーダーの育成を一体的に推進するダイバーシティ実現に向けた大学等の取組を支援する

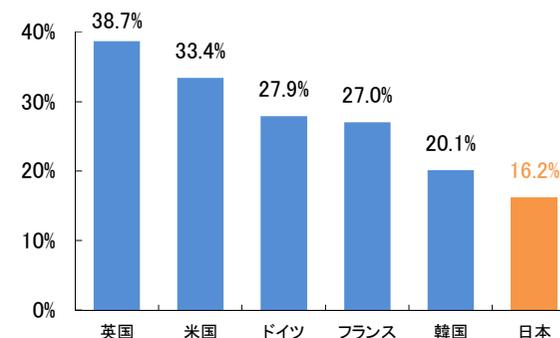
ダイバーシティ実現に向けた取組の支援

- 対象機関：大学、国立研究開発法人等
- 事業期間：6年間（うち補助期間3年間）
- 支援取組：
 - ①牽引型 複数の機関が連携し、地域や分野における女性研究者の活躍を牽引する取組
 - ②先端型 女性研究者の海外派遣等を通じた上位職登用の一層の推進等の取組
 - ③特性対応型（新設） 分野や機関の研究特性や課題等に対応し、研究効率の向上を図りつつ、女性研究者の活躍を促進する取組
 - ④全国ネットワーク中核機関（群） 国内外の取組動向の調査や経験、知見の全国的な普及・展開を図るための全国ネットワークの構築を目指す取組
- 支援金額：40百万円程度/年・件〔24件程度（うち新規8件程度）〕

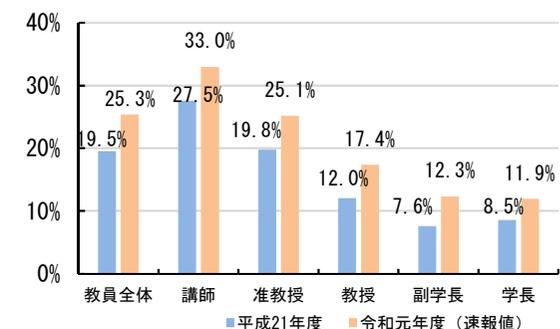
調査分析等の実施

- 対象機関：大学、国立研究開発法人等
- 事業期間：2年間
- 支援取組：女性研究者の活躍促進に資する海外の優れた取組に関する調査分析
- 支援金額：25百万円程度/年・件〔2件程度（うち新規1件程度）〕

■女性研究者割合の国際比較



■大学における職位別の女性教員の在籍割合



※学校基本統計等より作成

背景・課題

- 世界で最初に本格的な少子高齢化を迎えた我が国が豊かな社会を実現するためには、我が国が強みを発揮できる技術とAI技術を融合して産業競争力の強化につなげつつ、減少する労働力を補完し、生産性の向上等に資するAI技術が必要であるが、我が国ではAI技術を使いこなすIT人材が大幅に不足すると推計されている。
- IT人材のうち特に、データサイエンティストのチームを率いて、組織におけるビッグデータ利活用を先導できる「エキスパート人材」が不足すると見込まれており、高度人材に対する教育プログラムの展開が必要。
- また、次代のAI技術を牽引する人材の育成が求められており、高等学校段階でのAI、データサイエンス分野に関する教育の充実が必要。

事業概要

【事業の目的・目標】

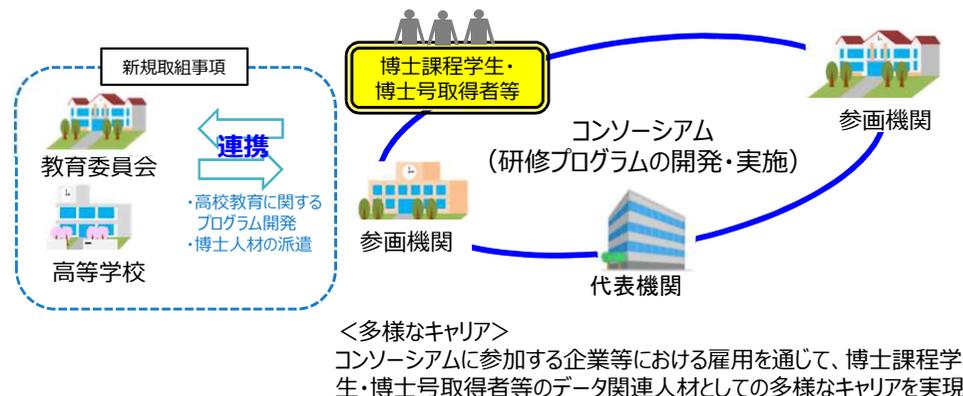
- 各分野の博士人材等について、データサイエンス等を活用しアカデミア・産業界・教育分野を問わず活躍できるトップクラスのエキスパート人材を育成する研修プログラムを開発・実施する。
- AI・数理・データサイエンスに関する教育について先進的な取組を行う高等学校等と連携し、これらのテーマに関する探究的な学習を促進。

【事業概要・イメージ】

- 大学、企業等がコンソーシアムを形成し、博士課程学生・博士号取得者等の高度人材に対して、データサイエンス等のスキルを習得させる研修プログラムを開発・実施し、キャリア開発の支援を実施することにより、高度データ関連人材を育成し、社会の多様な場での活躍を促進。

令和2年度の新規取組事項

- 次代のAI技術を牽引する高校生の育成など教育分野でも活躍できる人材を育成できるよう、研修プログラムに高等学校教育に関する内容を追加。
- AI・数理・データサイエンスに関する教育について先進的な取組を行う高等学校等と連携し、博士人材を派遣することなどにより、高等学校等における探究的な学習を促進。高等学校等においては、特別免許状や非常勤講師制度も活用。



- ✓ 支援対象経費：
研修プログラムの開発・実施経費、全国的な普及・展開経費、次代のAI技術を牽引する高校生の育成に係る経費
- ✓ 事業期間：
最大8年間(補助対象期間は5年間) ※3年目に中間評価を実施
- ✓ 支援拠点数 7拠点程度(うち新規1拠点程度[高等学校等との連携])

【選定実績】

- ・東京医科歯科大学(ビッグデータ医療・AI創薬コンソーシアム)
- ・電気通信大学(データアントレプレナーフェロープログラム)
- ・大阪大学(データ関連人材育成関西地区コンソーシアム、全国ネットワーク)
- ・早稲田大学(高度データ関連人材育成プログラム)
- ・北海道大学(次世代スマートインフラ管理人材育成コンソーシアム)

○卓越研究員事業

- ・令和2年1月31日： 公募説明会(研究機関向け)
- ・令和2年1月31日～12月中旬： ポスト提示
- ・令和2年2月下旬： ポスト公開(以降、随時公開)
- ・令和2年3月7日、20日、4月9日： 公募説明会(申請者(若手研究者)向け)
- ・令和2年4月23日： 若手研究者申請締切
- ・令和2年5月～6月： 審査
- ・令和2年7月上旬： 卓越研究員候補者の決定

○世界で活躍できる研究者戦略育成事業

- ・令和2年4月上旬： 公募説明会
- ・令和2年4月～5月： 公募
- ・令和2年5月～7月： 審査(書面・面接)
- ・令和2年7月下旬： 選定機関の決定

○ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ

- ・令和2年3月上旬： 公募説明会
- ・令和2年3月上旬～4月下旬： 公募
- ・令和2年5月～7月： 審査(書面・面接)
- ・令和2年7月下旬： 選定機関の決定

○データ関連人材育成プログラム

- ・令和2年4月中旬： 公募説明会
- ・令和2年4月～5月： 公募
- ・令和2年6月～7月： 審査(書面・面接)
- ・令和2年7月下旬： 選定機関の決定

< お問い合わせ先 >

文部科学省 科学技術・学術政策局
人材政策課 人材政策推進室
電話：03-6734-4021
メール：kiban@mext.go.jp

背景・課題

○ 将来にわたり、日本が科学技術で世界をリードしていくためには、次代を担う才能豊かな子ども達を継続的、体系的に育成していくことが必要。

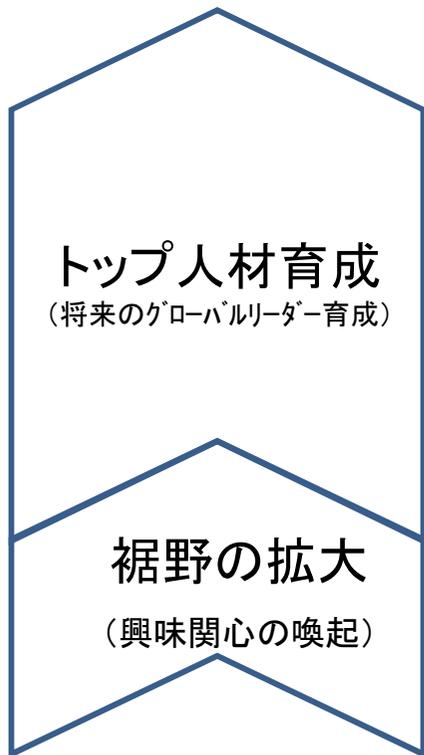
「第5期科学技術基本計画」(抄)(平成28年1月22日閣議決定)

我が国が科学技術イノベーション力を持続的に向上していくためには、初等中等教育及び大学教育を通じて、次代の科学技術イノベーションを担う人材の育成を図り、その能力・才能の伸長を促すとともに、理数好きの児童生徒の拡大を図ることが重要である。このため、創造性を育む教育や理数学習の機会の提供等を通じて、優れた素質を持つ児童生徒及び学生の才能を伸ばす取組を推進する。

事業概要

【事業の目的・目標】

初等中等教育段階から優れた素質を持つ児童生徒を発掘し、その才能を伸ばすための一貫した取組を推進する。



■ 科学技術コンテストの推進
 令和2年度予算額(案) : 831百万円
 (前年度予算額 : 718百万円)

理数系の意欲・能力が高い中高生が科学技術に係る能力を競い、相互に研鑽する場を構築・支援(各種科学オリンピックへの支援、科学の甲子園、科学の甲子園ジュニアの開催)

■ ジュニアドクター育成塾
 令和2年度予算額(案) : 241百万円
 (前年度予算額 : 240百万円)

理数分野で特に意欲や突出した能力を有する全国の小中学生を対象に、特別な教育プログラムを実施する大学等を支援

■ グローバルサイエンスキャンパス(GSC)
 令和2年度予算額(案) : 429百万円
 (前年度予算額 : 419百万円)

卓越した意欲・能力のある生徒を対象とした、大学等が実施する次世代の傑出した国際的科学技術人材の育成プログラムの開発・実施

■ スーパーサイエンスハイスクール(SSH)
 令和2年度予算額(案) : 2,219百万円
 (前年度予算額 : 2,219百万円)

生徒の科学的能力を培い、将来社会を牽引する科学技術人材を育成するために、先進的な理数系教育を実施する高等学校等を「スーパーサイエンスハイスクール(SSH)」として指定し支援

※ 上記の取組に加えて下記の取組を推進

■ 女子中高生の理系進路選択支援プログラム
 令和2年度予算額(案) : 42百万円
 (前年度予算額 : 43百万円)

大学や関係機関におけるシンポジウム等において、科学技術分野で活躍する女性研究者等のロールモデルの提示等により、女子中高生の理系進路選択を推進



次世代の多様な科学技術イノベーション人材の創出

○スーパーサイエンスハイスクール支援事業

- ・令和元年12月18日(水)～令和2年1月31日(金)18時:公募期間
- ・令和2年2月上旬～3月上旬:審査
- ・令和2年3月下旬:採択結果の公表

○グローバルサイエンスキャンパス

- ・令和2年1月15日(水)～2月26日(水)正午:公募期間
- ・令和2年3月下旬:書類審査
- ・令和2年4月上旬～中旬:面接審査
- ・令和2年4月下旬～5月下旬:採択結果の通知・公表

○ジュニアドクター育成塾

- ・令和2年1月15日(水)～2月25日(火)正午:公募期間
- ・令和2年2月下旬～3月中旬:書類審査
- ・令和2年4月9日:面接審査
- ・令和2年5月:採択結果の通知・公表

お問合せ先は資料後半 (p.16) に記載

科学技術振興機構(JST)の 競争的資金等の公募について

科学技術イノベーションの総合的な推進機関として、基礎研究から実用化まで一貫した研究開発の支援とともに、我が国の強みを支える科学技術基盤の強化を目指す。令和2年度においては、「第5期科学技術基本計画」、「統合イノベーション戦略2019」、及び法人自らの改革プランである「濱口プラン」等を踏まえ、変容する社会に対応し、イノベーションにつながる新たな潮流を生み出す独創的なネットワーク型研究所として、ハイリスク・ハイインパクトな研究開発等の推進に積極的に取り組む。

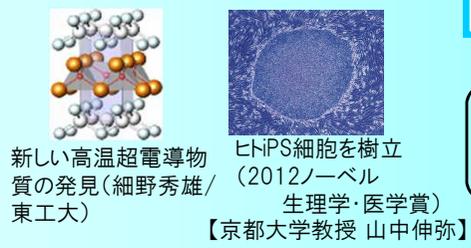
■ 未来を共創する研究開発戦略の立案・提言 1,305百万円(1,305百万円)

- 研究開発戦略センター(CRDS)
- 中国総合研究・さくらサイエンスセンター(CRSC)
- 低炭素社会戦略センター(LCS)
- 研究開発戦略立案のための情報基盤システム整備

■ 知の創造と経済・社会的価値への展開 88,710百万円(88,861百万円)

戦略的な研究開発の推進

- 戦略的創造研究推進事業
 - 新技術シーズ創出 41,787百万円(42,444百万円)
 - 先端的低炭素化技術開発 3,166百万円(4,886百万円)
 - 社会技術研究開発 1,516百万円(1,421百万円)
- 創発的研究支援事業 60百万円(新規)
 - ※令和元年度補正予算額 50,000百万円
 - ※文部科学省からの補助金により基金を造成して実施



未来社会に向けたハイインパクトな研究開発の推進

- 未来社会創造事業 7,730百万円(6,500百万円)
- ムーンショット型研究開発事業 1,600百万円(1,600百万円)
 - ※平成30年度第2次補正予算額 80,000百万円
 - ※文部科学省からの補助金により基金を造成して実施

人材、知、資金の好循環システムの構築

- 研究成果最適展開支援プログラム(A-STEP) 6,779百万円(7,083百万円)
- 大学発新産業創出プログラム(START) 1,945百万円(1,748百万円)
- 共創の場形成支援 13,800百万円(12,641百万円)



国際共同研究・国際交流・科学技術外交の推進

- 地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム(SATREPS) 1,876百万円(1,777百万円)
- 戦略的国際共同研究プログラム(SICORP) 1,078百万円(1,034百万円)
- 日本・アジア青少年サイエンス交流事業 2,140百万円(2,110百万円)
- 持続可能開発目標達成支援事業 1,095百万円
 - ※令和元年度補正予算額

情報基盤の強化

- 科学技術情報連携・流通促進事業 2,791百万円(2,755百万円)
- ライフサイエンスデータベース統合推進事業 1,311百万円(1,211百万円)



社会・経済の変革をもたらす
科学技術イノベーションの創出

■ 未来共創の推進と未来を創る人材の育成 7,217百万円(7,092百万円)

未来の共創に向けた社会との対話・協働の深化

- 未来共創推進事業 3,005百万円(3,021百万円)



イノベーションの創出に資する人材の育成

- 研究人材キャリア情報活用支援事業 144百万円(126百万円)
- プログラム・マネージャー(PM)の育成・活躍推進プログラム 117百万円(117百万円)
- 研究公正推進事業 42百万円(42百万円)

未来を創る次世代イノベーション人材の重点的育成

- 次世代人材育成事業
 - スーパーサイエンスハイスクール支援 2,219百万円(2,219百万円)
 - 科学技術コンテストの推進 831百万円(718百万円)
 - 大学等と連携した科学技術人材育成活動の実践・環境整備支援 859百万円(848百万円)
 - グローバルサイエンスキャンパス 429百万円(419百万円)
 - ジュニアドクター育成塾 241百万円(240百万円)
 - 女子中高生の理系進路選択支援プログラム 42百万円(43百万円)



JST 国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST) における2020年度公募について

事業名	プログラム名		2020 公募	事業名	プログラム名		2020 公募	
戦略的創造研究推進 事業	新技術シーズ創出	CREST	○	未来社会創造事業	探索加速型		○	
		さきがけ	○		大規模プロジェクト型	○		
		ACT-X	○					
		ERATO	○					
	社会技術研究開発		○	ムーンショット型研究開発事業		調整中		
			○	創発的研究支援事業		調整中		
研究成果展開事業	旧ステージ I	産業ニーズ対応	—	国際科学技術共同 研究推進事業	戦略的国際共同研究プログラム (SATREPS)		○	
		戦略テーマ重点	—		地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム (SICORP)		○	
		トライアウト	○		持続可能開発目標達成支援事業		○	
	研究成果最適展開 支援プログラム	機能検証フェーズ	試験研究	—	ライフサイエンスデー ベース統合推進事業	統合化推進プログラム		—
			実証研究	—	知財活用支援事業	大学等知財基盤強化支援 (権利化支援)		○
	産学共同	育成型	○	大学等知財基盤強化支援 (マネジメント強化支援)		○		
		本格型	○	大学等知財基盤強化支援 (パッケージ化) 知財譲受		○		
	企業主体	返済型	○	技術移転人材育成研修		—		
		マッチングファンド型	○	目利き人材育成		○		
	戦略的イノベーション創出推進プログラム			—	次世代人材育成事業	スーパーサイエンスハイスクール支援		○
	産学共創基礎基盤研究プログラム			—		国際科学技術コンテスト支援事業		—
	大学発新産業創出プログラム (START)			○		科学の甲子園、科学の甲子園ジュニア		—
	共創の場形成支援プログラム			○		グローバルサイエンスキャンパス		○
	センター・オブ・イノベーション (COI) プログラム			—		ジュニアドクター育成塾		○
	産学共創プラットフォーム共同研究推進プログラム (OPERA)			—		女子中高生の理系進路選択支援プログラム		○
	先端計測分析技術・機器開発プログラム			—		未来共創推進事業	「STI for SDGs」アワード	
	産学共同実用化開 発事業 (NexTEP)	一般タイプ	○	日本・アジア青少年サイエンス交流事業 (さくらサイエンスプラン)			○	
		未来創造ベンチャータイプ	○	プログラム・マネージャー (PM)の育成・活躍推進プログラム		○		
	出資型新事業創出支援プログラム (SUCCESS)			○			○	

事業名	プログラム名	2019年度の公募		2020年度の公募予定		問い合わせ先
戦略的創造研究推進事業	新技術シーズ創出	CREST	○ 2019年4月9日～2019年6月4日(終了)	○	2020年3月下旬頃公募開始予定(第1期) 2020年4月上旬頃公募開始予定(第2期)	戦略研究推進部 電話: 03-3512-3530 メール: rp-info@jst.go.jp https://www.jst.go.jp/kisoken/crest/
		さきがけ	○ 2019年4月9日～2019年5月28日(終了)	○	2020年3月下旬頃公募開始予定(第1期) 2020年4月上旬頃公募開始予定(第2期)	戦略研究推進部 電話: 03-3512-3530 メール: rp-info@jst.go.jp https://www.jst.go.jp/kisoken/presto/
		ACT-X	○ 2019年4月9日～2019年5月28日(終了)	○	2020年3月下旬頃公募開始予定(第1期) 2020年4月上旬頃公募開始予定(第2期)	戦略研究推進部 電話: 03-3512-3530 メール: rp-info@jst.go.jp https://www.jst.go.jp/kisoken/act-x/
		ERATO	○ 研究総括(研究代表者)候補の推薦公募を実施	○	研究総括(研究代表者)候補の推薦公募を実施 ※公募は通年で実施しているが、2020年度向けには2019.11月末締切	研究プロジェクト推進部 電話: 03-3512-3528 メール: eratowww@jst.go.jp https://www.jst.go.jp/erato/
	社会技術研究開発	○	[人と情報のエコシステム研究開発領域] 令和元年5月8日～令和元年7月17日(終了) [科学技術イノベーション政策のための科学研究開発プログラム] 平成31年4月24日～令和元年5月23日(終了) [SDGsの達成に向けた共創的研究開発プログラム] 令和元年6月3日～令和元年7月29日(終了)	○	[科学技術イノベーション政策のための科学研究開発プログラム] [SDGsの達成に向けた共創的研究開発プログラム] [人文社会科学主導型ELSI研究開発プログラム(仮)] 令和2年4月頃公募開始予定	社会技術研究開発センター企画運営室 電話: 03-5214-0132 メール: boshu@jst.go.jp https://www.jst.go.jp/ristex/hite/
未来社会創造事業	探索加速型	○	令和元年5月15日(水)～2019年7月24日(水)正午(終了)	○	令和2年4月頃公募開始予定	未来創造研究開発推進部 電話: 03-6272-4004 メール: kaikaku_mirai@jst.go.jp http://www.jst.go.jp/mirai/jp/
	大規模プロジェクト型	○	令和元年5月15日(水)～2019年7月24日(水)正午(終了)	○	令和2年4月頃公募開始予定	未来創造研究開発推進部 電話: 03-6272-4004 メール: kaikaku_mirai@jst.go.jp http://www.jst.go.jp/mirai/jp/
ムーンショット型研究開発事業	【調整中】	【調整中】	【調整中】	【調整中】	【調整中】	挑戦的研究開発プログラム部 電話: 03-5214-8419 メール: moonshot-info@jst.go.jp https://www.jst.go.jp/moonshot/index.html
創発的研究支援事業	【調整中】	【調整中】	【調整中】	【調整中】	【調整中】	戦略研究推進部 創発的研究支援事業推進準備室 電話: 03-5214-7276
国際科学技術共同研究推進事業	地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム(SATREPS)	○	2019年9月10日～2019年11月11日(終了)	○	2020年9月頃公募開始予定	国際部SATREPSグループ 電話: 03-5214-8085 メール: global@jst.go.jp https://www.jst.go.jp/global/
	戦略的国際共同研究プログラム(SICORP)	○	[e-ASIA共同研究プログラム 第8回公募] 2019年1月18日～2019年5月14日(終了) [EIG CONCERT Japan 第6回公募] 2019年4月15日～2019年6月14日(終了) [日本-ドイツ共同研究]2019年6月25日～2019年9月25日(終了) [日本-米国研究交流]2019年6月27日～2019年9月9日(終了) [日本-台湾研究交流]2019年8月15日～2019年10月8日(終了) [AJ-CORE 第1回公募]2019年12月20日～3月30日(募集中)	○	[e-ASIA共同研究プログラム 第9回公募]【調整中】 [EIG CONCERT Japan 第7回公募]【調整中】	国際部事業実施グループ 電話: 03-5214-7375 メール: intl@jst.go.jp https://www.jst.go.jp/inter/sicorp/
	持続可能開発目標達成支援事業	○	2020年2月頃公募開始予定	—	—	国際部SATREPSグループ 電話: 03-5214-8085 メール: global@jst.go.jp 国際部事業実施グループ 電話: 03-5214-7375 メール: intl@jst.go.jp

事業名	プログラム名		2019年度の公募		2020年度の公募予定		問い合わせ先	
研究成果展開事業①	研究成果最適展開支援プログラム	旧ステージ I	産業ニーズ対応	—	—	—	産学連携展開部テーマ型研究グループ 電話: 03-3238-7682 メール: kyousou@jst.go.jp	
			戦略テーマ重点	—	—	—	産学連携展開部テーマ型研究グループ 電話: 03-3238-7682 メール: s-innova@jst.go.jp	
		トライアウト	—	—	○	2020年3月頃公募開始予定	産学連携展開部地域イノベーショングループ 電話: 03-6272-4732 メール: mp@jst.go.jp https://www.jst.go.jp/mp/	
		機能検証フェーズ	試験研究	○	[第一回]2019年3月14日～2019年5月14日(終了) [第二回]2019年5月23日～2019年7月23日(終了)	—	A-STEPトライアウトとして公募	産学連携展開部地域イノベーショングループ 電話: 03-6272-4732 メール: mp@jst.go.jp https://www.jst.go.jp/mp/
			実証研究	○	2019年5月23日～2019年7月23日(終了)	—	廃止(A-STEP産学共同育成型を参照)	産学連携展開部地域イノベーショングループ 電話: 03-6272-4732 メール: mp@jst.go.jp https://www.jst.go.jp/mp/
		産学共同	育成型	—	—	○	2020年3月頃公募開始予定	産学連携展開部研究支援グループ 電話: 03-5214-8994 メール: a-step@jst.go.jp https://www.jst.go.jp/a-step/
			本格型	○	2019年3月11日～5月13日(終了)	○	2020年3月頃公募開始予定	産学連携展開部研究支援グループ 電話: 03-5214-8994 メール: a-step@jst.go.jp https://www.jst.go.jp/a-step/
		企業主体	返済型	○	通年募集 [第一回]2019年3月29日～2019年7月31日(終了) [第二回]2019年7月31日～2019年11月29日(終了) [第三回]2019年11月29日～2020年3月31日(募集中)	○	2020年3月31日公募開始予定	産学共同開発部 電話: 03-6380-8140 メール: jitsuyoka@jst.go.jp https://www.jst.go.jp/a-step/
			マッチングファンド型	○	2019年3月11日～2019年6月10日(終了)	○	2020年3月頃公募開始予定	—
		戦略的イノベーション創出推進プログラム	—	—	—	—	—	産学連携展開部テーマ型研究グループ 電話: 03-3238-7682 メール: s-innova@jst.go.jp http://www.jst.go.jp/s-innova/
	産学共創基礎基盤研究プログラム	—	—	—	—	—	産学連携展開部テーマ型研究グループ 電話: 03-3238-7682 メール: kyousou@jst.go.jp https://www.jst.go.jp/kyousou/	
	大学発新産業創出プログラム (START)	—	○	[事業プロモーター支援型] 2019年1月17日～2019年3月18日(終了) [プロジェクト支援型(第1次申請)] 2019年3月7日～2019年6月14日(終了) [社会還元加速プログラム(SCORE)(第1次申請)] 2019年4月10日～2019年5月17日(終了)	○	[事業プロモーター支援型] 2019年12月24日～2020年2月12日正午(募集中) [プロジェクト支援型(第1次申請)] 2020年1月下旬頃公募開始予定 [社会還元加速プログラム(SCORE)大学推進型] 【調整中】 [社会還元加速プログラム(SCORE)チーム推進型] 【調整中】	産学連携展開部START事業グループ 電話: 03-5214-7054 メール: start-boshu@jst.go.jp https://www.jst.go.jp/start/	



国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST) における2020年度公募について

事業名	プログラム名	2019年度の公募		2020年度の公募予定		問い合わせ先	
研究成果展開事業②	共創の場形成支援プログラム	—		○	2020年4月頃公募開始予定	イノベーション拠点推進部 電話: 03-6272-4602 メール: platform@jst.go.jp https://www.jst.go.jp/pf/platform/	
	センター・オブ・イノベーション (COI) プログラム	—		—		イノベーション拠点推進部COIプログラム担当 電話: 03-5214-7997 メール: coi@jst.go.jp http://www.jst.go.jp/coi/	
	産学共創プラットフォーム共同研究推進プログラム (OPERA)	○	・オープンイノベーション機構連携型 2019年3月25日～2019年5月23日(終了) ・共創プラットフォーム育成型 2019年3月25日～2019年5月16日(終了)	—		イノベーション拠点推進部COIグループ 電話: 03-6272-3816 メール: opera@jst.go.jp https://www.jst.go.jp/opera/	
	先端計測分析技術・機器開発プログラム	—		—		産学連携展開部先端計測グループ 電話: 03-3512-3529 メール: sentan@jst.go.jp https://www.jst.go.jp/sentan/	
	産学共同実用化開発事業 (NexTEP)	一般タイプ	○	通年募集 [第一回]2019年3月29日～2019年7月31日(終了) [第二回]2019年7月31日～2019年11月29日(終了) [第三回]2019年11月29日～2020年3月31日(募集中)	○	2020年3月31日公募開始予定	産学共同開発部 電話: 03-6380-8140 メール: jitsuyoka@jst.go.jp https://www.jst.go.jp/jitsuyoka/
		未来創造ベンチャータイプ	○	通年募集 [第一回]2019年3月29日～2019年7月31日(終了) [第二回]2019年7月31日～2019年11月29日(終了) [第三回]2019年11月29日～2020年3月31日(募集中)	○	2020年3月31日公募開始予定	
		出資型新事業創出支援プログラム (SUCCESS)	○	随時相談受付	○	随時相談受付予定	産学共同開発部起業支援室 電話: 03-6380-9014 メール: entre@jst.go.jp https://www.jst.go.jp/entre/
知財活用支援事業	大学等知財基盤強化支援(権利化支援)	○	通年募集	○	通年募集予定	知的財産マネジメント推進部大学知財支援グループ 電話: 03-5214-8413 メール: kenri@jst.go.jp https://www.jst.go.jp/chizai/pat/p_s_00summary.html	
	大学等知財基盤強化支援(マネジメント強化支援)	○	随時相談受付	○	随時相談受付予定	知的財産マネジメント推進部大学知財支援グループ 電話: 03-5214-8413 メール: j-sup@jst.go.jp https://www.jst.go.jp/chizai/pat/p_u_support_application.html	
	大学等知財基盤強化支援(パッケージ化)	—	知財譲受	—		知的財産マネジメント推進部知財集約・活用グループ 電話: 03-5214-8293 メール: shuuyaku@jst.go.jp https://www.jst.go.jp/chizai/shuuyaku.html	
	技術移転人材育成研修	○	随時募集	○	コース別に募集予定(2020年度第一四半期以降)	知的財産マネジメント推進部移転人材育成グループ 電話: 03-5214-8477 メール: t3course@jst.go.jp https://www.jst.go.jp/chizai/pat/t3cours.html	
	目利き人材育成	○	バリュープロデュースコース: 2019年5月15日(水)～2019年6月4日(火)正午(終了) 研究推進マネジメントコース: 2019年5月15日(水)～2019年6月4日(火)正午(終了) トピックスコース: 2019年5月15日(水)～2019年6月4日(火)正午(終了) 国等の支援制度説明: 2020年1月14日(火)～2020年1月31日(金)	○	コース別に募集予定(2020年5月中旬頃)	科学技術イノベーション人材育成部 電話: 03-5214-8446 メール: mekiki@jst.go.jp	
ライフサイエンスデータベース統合推進事業	統合化推進プログラム	—	公募予定なし	—	公募予定なし	バイオサイエンスデータベースセンター企画運営室 電話: 03-5214-8491 メール: nbdc-funding@jst.go.jp https://biosciencedbc.jp/	
未来共創推進事業	「STI for SDGs」アワード	○	2019年6月3日～8月30日(終了)	○	2020年4月下旬～7月中旬(予定)	「科学と社会」推進部 未来共創運営グループ 電話: 03-5214-7493 メール: sdgs-award@jst.go.jp	



国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST) における2020年度公募について

事業名	プログラム名	2019年度の公募		2020年度の公募予定		問い合わせ先
次世代人材育成事業	スーパーサイエンスハイスクール支援	○	高大接続枠以外:2018年11月8日~2018年12月19日18時(終了) 高大接続枠:2018年12月25日~2019年2月8日18時(終了)	○	2019年12月18日~2020年1月31日18時	<p><実施希望調書等の提出について> 文部科学省初等中等教育局教育課程課教育課程第二係 電話: 03-5253-4111(内線2613) メール: ssh@mext.go.jp</p> <p><科学技術人材育成重点枠について> 文部科学省科学技術・学術政策局人材政策課次世代人材育成係 電話: 03-5253-4111(内線4191)</p> <p><経費支援について> 国立研究開発法人科学技術振興機構(JST) 理数学習推進部先端学習グループ 電話: 048-226-5683(直通) メール: ssh-info@jst.go.jp http://www.jst.go.jp/cpse/ssh/</p>
	国際科学技術コンテスト支援事業	—		—		理数学習推進部 才能育成グループ 電話: 048-226-5665 メール: is-cont@jst.go.jp https://www.jst.go.jp/cpse/contest/
	科学の甲子園、科学の甲子園ジュニア	○	開催地について: 2019年6月28日~2019年8月28日(終了)	—		理数学習推進部 才能育成グループ 電話: 048-226-5665 【科学の甲子園】 メール: koushien@jst.go.jp https://koushien.jst.go.jp/koushien/outline/municipality.html 【科学の甲子園ジュニア】 メール: koushien-jr@jst.go.jp https://koushien.jst.go.jp/koushien-Jr/about/municipality.html
	グローバルサイエンスキャンパス	○	2019年1月18日~2019年3月1日(終了)	○	2020年1月15日~2020年2月26日	理数学習推進部 能力伸長グループ 電話: 048-226-5669 メール: gsc@jst.go.jp https://www.jst.go.jp/cpse/gsc/
	ジュニアドクター育成塾	○	2019年1月11日~2019年2月22日(終了)	○	2020年1月15日~2020年2月25日	理数学習推進部 能力伸長グループ 電話: 048-226-5669 メール: fsp@jst.go.jp https://www.jst.go.jp/cpse/fsp/
	女子中高生の理系進路選択支援プログラム	○	2019年1月25日~2019年3月8日(終了)	○	2020年1月24日~2020年3月6日	理数学習推進部 能力伸長グループ 電話: 048-226-5671 メール: jyoshi-koubo@jst.go.jp https://www.jst.go.jp/cpse/jyoshi/
日本・アジア青少年サイエンス交流事業(さくらサイエンスプラン)	○	2019年1月30日~2019年3月4日(終了) 2019年3月5日~2019年6月3日(終了) 2019年6月4日~2019年9月2日(終了) 2019年9月3日~2019年11月6日(終了)	○	2020年1月30日~2020年3月2日 2020年3月3日~2020年6月1日 2020年6月2日~2020年9月1日 2020年9月2日~2020年11月5日	さくらサイエンス交流事業推進室 電話: 03-5214-8996 メール: ssp@jst.go.jp https://ssp.jst.go.jp/index.html	
プログラム・マネージャー(PM)の育成・活躍推進プログラム	○	2019年4月23日~2019年6月4日(終了)	○	2020年4月下旬公募開始予定	科学技術イノベーション人材育成部 電話: 03-5214-8446 メール: innov-jinzai@jst.go.jp https://pm-jinzai.jst.go.jp/application/	